

議会だより

第130号

平成28年  
8月10日発行

発行 鹿児島県東申良町議会  
編集 議会広報編集委員会  
電話 0994-63-3132(直通)

# 東くらし



## いけいけ柏原!

両小学校水泳記録会  
～柏小5・6年児童～

宮原町政「肉付予算」 .....	2
学校給食費の補助始まる .....	4
「一般質問」	
町長の施政方針について等 .....	6
錦江町議会日曜議会傍聴 .....	16

# ・シルバーを活用

平成28年第2回定例会は、6月14日から23日までの10日間の会期で開きました。今定例会では、同意1件、報告1件、承認4件、陳情3件、単行議案4件、補正予算4件等を審議しました。

今回は、2月に行われた町長選挙で当選した宮原町長による肉付予算が発表され、所信表明及び施政方針が述べられました。一般質問では9名の議員が登壇し、町長の政治姿勢に対する質問を行いました。



剪定もお手のもの「シルバー人材センター」

## 補正 予算

一般会計及び2特別会計補正予算が町長より提案され、全会一致で原案可決しました。今回肉付けされた補正予算には、高齢者の活躍と生きがいづくりを目的とした「シルバー人材センターを活用した事業」や、子育て世代の定住化の促進と子育て支援のための「\*学校給食費補助事業」等が盛り込まれました。(※4ページに関連記事)

### 平成28年度補正予算 (単位：千円以下切り捨て)

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	5億1000万円	44億8348万円
介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	2657万円	9億5757万円
介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計	191万円	568万円

### 「一般会計」歳出の主なもの

- \*ふるさと納税報償費(返礼品) 1700万円
- \*ふるさと納税応援基金積立金 3400万円
- \*シルバー人材センター活用 of 事業関係 213万円
- \*I・Uターン受け入れ体制づくり事業 50万円
- \*農業版見える化事業委託料 100万円
- \*コミュニティ助成事業補助金 230万円
- \*高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業委託料 207万円
- \*産地パワーアップ事業関係 2000万円
- \*農道台帳作成業務委託料 970万円
- \*町道補修に係る工事費 1000万円
- \*橋梁補修工事費 3700万円
- \*町道整備に係る工事費 1億3600万円
- \*池之原小学校校舎増築に係る工事費 6000万円
- \*学校給食費助成金 800万円
- \*総合体育館管理費機械器具費 760万円

平成28年  
6月議会

# 給食費を補助



## 提出議案（予算以外）の採決結果

議案番号	議案名等	採決結果
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（東串良町税条例等の一部を改正する条例）	全会一致で承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度東串良町一般会計補正予算（第10号））	全会一致で承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度東串良町国民健康保険特別会計補正予算（第4号））	全会一致で承認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度東串良町一般会計補正予算（第1号））	全会一致で承認
議案第34号	東串良町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第35号	東串良町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第36号	東串良町過疎地域自立促進計画の変更について	全会一致で原案可決
議案第41号	東串良町簡易郵便局設置条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決

### 陳情3件を採択

① 道路の拡幅及び水路の取付に関する陳情書

▼陳情者 新福一夫（新川西1562-1-1）

▼審査結果 全会一致で採択

② 陳情書（教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について）

▼陳情者 小蓬原昭雄（新川西4995-11）

▼審査結果 全会一致で採択  
意見書を国の関係機関へ提出

③ 町道溝上線に関する陳情書

▼陳情者 杉木幸男（川東1006-13）

▼審査結果 全会一致で採択

### ●固定資産評価員の選任

全会一致で同意  
人事異動に伴い、後任の  
税務課長（児玉隆男氏）を  
選任したいとの提案があり  
同意しました。

# 給食費月額2000円を補助 〜9月からスタート〜

町では、子育て世代の定住化の促進と子育て環境の向上を図るため、学校給食費に対する助成金800万円の補正予算を提出しました。

補助の対象は、義務教育校である小学校、中学校に在籍している各児童生徒の保護者が負担する給食費で、9月から月額2000円の補助金の交付が開始されます。

## 学校給食法

### との関係

**Q** 以前は学校給食法の関係で補助はできないとのことだったが、法的に問題はないのか。

**A** 学校給食法第11条では、学校給食に必要な施設や設備及び運営に要する経費は、義務教育校の設置者の負担とし、それ以外の光熱水費や食材料費は保護者の負担と定めている。

しかし、これは経費の負担関係を明らかにしたものであり、設置者の判断で保護者の負担を軽減することは可能とされている。

### 【平成28年度の補助金額：14,000円（7か月分）】

現行	区分	4月～7月の月額	9月～3月の月額	年額
	小学生	3,800円	3,800円	41,800円
中学生	4,300円	4,300円	47,300円	



補助後	小学生	3,800円	1,800円	27,800円
	中学生	4,300円	2,300円	33,300円

※夏休み期間の8月は給食費はありません。

### 【平成29年度以降の補助金額：22,000円（11か月分）】

- 小学生の給食費月額 ⇒ 1,800円（4月～3月）年額 19,800円
- 中学生の給食費月額 ⇒ 2,300円（4月～3月）年額 25,300円



学校給食費の補助に対する保護者の声☆

### まちのPRにもつながる



池之原小PTA会長  
蔵園 修さん

保護者にとってはこの補助による負担軽減は非常に助かる。まちのPRにもなるので良いと思う。数年後また給食費が上がったりすることがないようにしてもらいたい。また補助を行っても、給食の質は現状を保ってほしい。

### 給食費の補助も ありがたいが…



柏原小PTA会長  
有園 雅文さん

保護者にとっては、ありがたい。ただ、給食費は未納もある状況である。給食費の補助よりも、なにかもっと別の形で子どもたちに還元してもらうことを今後検討してもらいたい。

### 滞納減額を期待



東串良中PTA会長  
月精 眞一さん

これまでの半額になるので、すごく助かる。特に、兄弟姉妹が多い家庭の保護者にとっては嬉しい補助だと思う。現在給食費は滞納もあるが、この補助が始まることで減少することを期待している。

# 平成28年第1回 臨時会

平成28年第1回臨時会を7月21日に開きました。この臨時会では、物品購入契約1件、補正予算1件、同意1件を審議しました。

物品購入契約については、地方自治法等の規定により予定価格が700万円以上の場合、議会

の議決が必要になります。

また、町は、別府俊昭教育長が平成28年7月23日付で辞職するため、新たに後任の教育長を任命することを議会に同意を求めました。

## 一般会計補正予算

全会一致で原案可決



一刻も早い解決を！「にぎやかタウン雪山」

一般会計補正予算は、にぎやかタウン雪山の一区画の地質調査委託料と不動産鑑定委託料が提案されました。

この調査・鑑定は、6月18日に住民説明会を行い、今後の町の方針を示した上で、住民の意向に基づき実施するものです。

- \* 地質調査委託料
- \* 不動産鑑定委託料

73万円

151万円

## 消防ポンプ自動車購入契約

全会一致で可決



- ◆ 契約の相手 株式会社 鹿児島消防防災
- ◆ 契約金額 2,581万円（うち消費税191万円）

※別府原分団に納入予定の同型の消防ポンプ車

7月4日に別府原分団の消防ポンプ自動車購入事業の入札がありました。3業者が指名競争入札を行い、落札業者が決まりました。

そこで、物品売買契約の締結にあたり、議会の議決が必要のため、町長より議案の提出があり、議会は全会一致で可決しました。

## 人事案件 教育長の任命

全会一致で同意



天神 やすお 教育長  
(昭和25年6月6日生)  
平成28年7月24日就任

### 略歴(主なもの)

- 昭和48年3月 鹿児島大学教育学部 中学校過程数学科卒業
- 昭和48年4月～52年3月 鹿屋農業高等学校教諭勤務
- 平成7年4月～15年3月 鹿屋高等学校教諭勤務
- 平成18年4月～19年3月 鹿児島工業高等学校 第一教頭勤務
- 平成19年4月～23年3月 種子島中央高等学校 校長勤務
- 平成23年4月～28年5月 私立津曲学園 鹿児島高等学校勤務

# 一般質問

9 議員が登壇

# 町政を問う

※内容は要約してあります。詳細は会議録(設置案内 P.14 に掲載)をご覧ください。

**Q** 不妊牛を淘汰事業の対象にできないか

**A** 現時点での補助は難しい



前田 隆 議員

**前田** 現在子牛価格が高騰しているが、そうした高値の雌の子牛を生産用に買った場合、中には不妊牛になり畜産農家の経営を圧迫しているものがある。

そこで、不妊牛も淘汰事業の対象とできないか。

**町長** 淘汰事業は、これまで1経営体に年3頭までであった。これを、繁殖雌牛40頭未満についてはこれまでどおりとし、40頭以上の場合は繁殖雌牛頭数の10%を上限頭数に補助するよう変更した。不妊牛については、経費の浪費も大きいので、獣医師の治療や、町の受精卵移植等も試して欲しい。こうした十分な対応をしてもだめなら、早い時期に更新を判断し経営の安定を図ってもらいたい。本町の財政も厳しい状況で、現時点での不妊牛への補助は難

**Q** 新鋭師増員の考えは育成したい

しいが、今後は精査、検討していきたい。

**前田** 現在新鋭師は4名だが、自分の家の仕事もできないほど新鋭師・運送と大変忙しい状況である。

そこで新鋭師の増員や若い新鋭師を育てる考えはないか尋ねる。



畜産農家にとって新鋭師は欠かせない。重労働ではあるが、新鋭師の育成は急務である

**町長** 町内の牛の新鋭師については、肉用牛ヘルパー組合を通して、新鋭師料の半額を国庫補助しており、和牛青年部の町内の4名の方に新鋭師活動をしてもらっている。新鋭師が多くて手が回らないような場合は、もう一人、町外で働いている方にもお願いをしている。その新鋭師の資格を得るための講習会や試験受験の経費などについては、肉用牛ヘルパー組合より負担することとしている。

新鋭師作業は体力の要る危険な作業でもあり、若い新鋭師の育成も必要となってきている。和牛青年部の中から、新たな新鋭師となってくれる方をお願いし、育成していきたいと考えている。

**Q** 給食費補助の目的は

**A** 子育て支援策の一つ

**前田** 今回の補正予算に学校給食費の補助金として800万円計上されているが、1人あたりいくらの補助か。また、補助の理由と目的は何か。

**町長** 現在の少子化問題、教育、子育てに対する支援策の一つとして、助成を行うものである。教育は親の責任というより、社会全体で育てるという考え方のもと、小・中学校に在席する児童・生徒の保護者に対して軽減を図るものである。このことにより、子育て世帯の定住化の促進と子育て環境の向上を図り、東串良町に住んでよかったという実感できるサービスを手がけていきたい。

助成額は、小学校、中学校の児童・生徒1人に対して1カ月2000円で、2学期から助成する。

**前田** 池之原幼稚園の園児の保護者に対する補助は。

**町長** この給食費の補助は、義務教育校に対するものである。園児も対象とするかについては、厳しい財政状況だが今後精査させていただきたい。

# Q 大隅半島に活断層は存在するか

# A 桜島の北側に存在する



宮地 利雄 議員

**宮地** 今回の熊本大地震は布田川断層帯、日奈久断層帯という地下の活断層のずれによって発生したとされている。大隅半島に活断層は存在しているのか。

**町長** 桜島の北側に比較的短い活断層、鹿児島湾東縁断層帯が確認されている。

鹿児島県周辺に震源域のある海溝型地震はないが、南海トラフ沿いの巨大地震や日向灘や南西諸島の海域で発生する地震で、津波や強い揺れの被害を受けることが想定される。

**宮地** 志布志湾への津波の浸入はどのような変化が予想されているのか。

**町長** 南海トラフ巨大地震が発生した場合、地震発生から約39分後に1メートルクラスの第1波が柏原海岸に到達。

その約10分後に最大津波水位約7・2メートルが到達し、その2時間後に4メートルクラスの津波が反射して押し寄せる想定となっている。

**宮地** 本町にある塩入川、串良川、肝属川という3本の河川を津波はどのように遡上するのか。

**町長** 県が示した津波浸水想定では、遡上した津波は堤防を越水することはないというシミュレーション結果が出ている。

**Q** 自主防災組織の結成率は76・8%である

**宮地** 本町の自主防災組織の結成状況は。

**町長** 平成28年4月1日現在で76の自主防災組織が結成され、76・8%の結成率となっている。

**宮地** 訓練や研修はどの程度行われているのか。

**町長** 津波避難訓練、炊き出し訓練、それと消火訓練、消火栓の取り扱い、AEDの取り扱いなど、各団体さまざまな活動を行っている。

平成27年度は45の自主防協会が訓練を実施している。

**宮地** これまでの防災マップは、津波については逃げる方向だけが示されているが、津波の高さによる避難所の指定は考えていないか。

**町長** 津波から迅速かつ円滑に避難するための避難場所、避難路の整備はもろろんである。

一方で、災害から命を守る準備と行動を自主防災会の訓練を通して、住民一人一人の防災意識を高める活動を推進し、防災力の向上を図っていく必要があると考える。

**Q** 小中学生に対する防災教育、訓練について

**A** 昨年2小1中の同時合同訓練を2回実施した

**宮地** 小・中学生への防災教育と訓練がどのような内容で実施されているのか。

**教育長** 昨年、2小1中の同時合同訓練を2回実施した。

参加できる3つの園も加わっている。内容は、防災アドバインザーや気象台講師による講演を受けた後、訓練を実施。同様の参加体制で南海トラフ地震を想定した避難訓練が1回。その他、巨大地震・津波を想定した日常的なシヨート

による避難訓練も行っている。今年も町内一斉の訓練を2回計画している。

**宮地** 父母との連携などの訓練は。

**教育長** 保護者との連携は、それぞれの学校で引き渡し訓練を行っている。

**Q** シルバー人材センターの活用は

**A** 補正予算に盛り込んだ

**宮地** シルバー人材センターの活用について、少なくとも他の自治体における活用と同程度の仕事量は確保すべきと思うが。

**町長** 今回の補正予算に、下刈り業務委託料として200万円を計上した。全庁的に業務内容を見直し、積極的にシルバー人材センターへ

お願いしたい。

**Q** 大隅くらし・しごとサポートセンターの目的などは

**A** 生活全般で困っている

**宮地** 大隅くらし・しごとサポートセンターの、目的や利用内容などを示されたい。

**町長** 県の事業で、今年4月大隅地域振興局内にセンターが設置された。

センターには相談専門の8名のスタッフが置かれ、働きたくても働けない人、子供の進学やひきこもりで悩んでいる人、収入が不安定で先が見えない人など、生活全般でお困りの方の相談に応じている。

**Q** 保育料や保育の実態は

**A** 待機児童などいない

**宮地** 昨年度、保育制度が国の基準押しつけで変更となり、各地で保育料の値上げ、民間委託など行われているが、本町の実態は。

**町長** 本町では、新制度になっても、保育料の額は基本的に変更していない。

また、現在、241名の児童が保育園を利用し、待機児童もいない。

## Q 執行部と議会のあり方を問う

**A** お互い町民のために知恵を出し合いよりよい東串良を築くことが理想



瀬戸山 譲一 議員

**瀬戸山** 執行部と議会のあり方であるが、いわゆる二元論という文言がある。議会は執行部のあり方を監視し疑義があればそれを正していくという意味でとらえても良いと思う。

しかし、国及び地方公共団体は財政的に逼迫し事業遂行に厳しい時代を迎えている。難しい局面を打破するためには、車の両輪と例えられる執行部と議会が互いに協調性に富み歩調を合わせることが大事だと思いが、町長の見解を問う。

**町長** 町長は執行機関の長であり、議会は議決機関である。私たち執行部が予算や条例等を議会に諮り、最終的な決定を議決という形で行うのが議会であると認識している。

町長は議会議員と選挙は異なるが、民意によって選ばれた東串良町を町民の皆様方から託されたということについては同じであるだろうと思う。深刻な意見の対立や緊張関係が続くと、町政が滞り、住民サービスの低下等を招くおそれがある。

執行部と議会はお互い町民のために車の両輪として知恵を出し合い、話し合いを重ね、よりよい東串良町を築いていくことが理想ではないかと考える。

**Q** 地方創生について町長の認識を問う  
**A** 町民の声に耳を傾け一歩ずつ着実に展開したい

**瀬戸山** 国から地方創生が叫



子どもたちが未来を思い描けるまちづくりを

ばれている。しかし、審査に合格し事業を展開するには厳しいハードルが立ちほだかる。時限立法でもあり5年後にはこの事業は終了する。一発屋で終了する可能性も高い。であるならば、町民皆様の陳情、要望に目を向け、あるべき町本来の事業を組み立て推進していくことが先決ではなからうか。その方が足が地につき持続できる事業が確立できるものと考えているが、町長の認識を問う。

**町長** ちゃんと足元を見据えて、我が町は我が町らしいまちづくりというものを目指して、将来の東串良町を担う子どもたちを安心して育てられるまちづくりに全力を尽くしたい。町民の声に耳を傾け、さまざまな分野において財源をしっかりと確保しつつ、一歩ずつ着実に各種事業等を開し町の転換につなげていきたいと考えている。

**Q** PFI事業への本町の取り組みを問う  
**A** 全国地域PFI協会への個別勉強会等を活用する

**瀬戸山** 近隣の市町村と地方創生を取り組めば、そのメリットを享受できる部分があると思う。唐仁古墳群の観光開発は、例えば肝付町の塚崎古墳群と協調することで互いに漁夫の利を得られる気がする。その共通点を見いだす時期でもある。

また、どの公共団体も財政難である。そこで民間資金を活用した公共物の建築、例えば老人介護施設、橋の建設など、これをPFI事業と言いつつ、既に取り組んでいる公共団体

があるが、本町の取り組みについて尋ねる。

**町長** 広域連携については、大隅総合開発期成会の4市5町により「大隅はひとつ！」大隅広域観光推進事業が地方創生加速化交付金の事業対象として採択され、今取り組んでいる。

PFI事業については大崎町が取り組んでいるが、本町においてもこの方式による事業展開はできないか、全国地域PFI協会への個別勉強会等を活用し地域活性化に向けて検討していきたいと考えている。

**PFI**(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)事業とは  
公共事業を実施するための手法の一つ。  
民間の資金と経済能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。  
あくまで地方公共団体が発注者となり、公共事業として行うもの。





唐仁古墳群の観光開発が望まれる

**Q** 町長が思う  
本町の魅力とは

**A** 歴史的、文化的  
遺産、農・畜産物、  
海産物、景勝地等の  
条件を生かしたい



上園 ミキ 議員

**上園** 自らがトップセールスマンとなり、町の魅力発信源になるということだが、本町の魅力とはどのようなものか。

**町長** 本町には歴史的、文化的遺産も数多くある。東九州自動車道も開通し交通の利便性も高まっているので、本町の魅力である農・畜産物、海産物、そして歴史、景勝地等の条件を生かして、グリー

ンツーリズムなどの体験型観光により、町内外から多くの旅行者が訪れるような施策について、企画課を中心に検討している。

**上園** 本町には県のブランド指定を受けているピーマン、キュウリがある。こうした生産農家の拡大を図るためには、後継者や新規就農者の育成が必要である。このためにはしっかりとした仕組みづくりを行い、その上で町内外へと魅力発信すべきと考えるが。

**町長** 農業公社を立ち上げるとか、いつ帰ってきてほしいよという空き家の整備とか大事だろうと考えるので、そういう受け皿づくりに取り組みたい。

**Q** ふるさと回帰支援センターを利用すべきでは  
**A** まずは県を通じた  
利用枠を活用する

**上園** I・Uターン者の受け入れに、東京にあるふるさと回帰支援センターを利用すべきと考えるが。

**町長** 残念ながら、まだ本町はふるさと回帰支援センターを使ったPR活動に取り組んでいない。まずは県を通

じた利用枠を活用させていた  
だき、本町のPRを図りたい。

**Q** にぎやかタウン雪山  
今後の対策は

**A** 住民の意向を踏まえ  
検討していく

**上園** にぎやかタウン雪山土地陥没に関してボーリング調査の結果が出たが、今後、どのような対策を講じるのか。

**町長** 昨年度実施されたボーリング調査を含む地盤調査において、地区内北側、2つの区画において人為的な廃棄物投棄が確認された。そのほかの北側区画においても、異物を混在する緩い埋め土が確認され、また現在変状が出ている部分に対する対策工事の方法が示された。

町では6月18日に住民説明会を開き、地盤調査結果に基づく補修工事案と、不動産鑑定価格による買い取り案の2つの方針を説明したが、住民の方々は、今回の地盤調査では、家屋の下の状況が不透明であり不安な部分が残るとの理由から、移転を要望する意見も出された。

今後、一日も早い解決に向け協議を重ね、住民の方々

の意向を踏まえた進め方で  
やっていきたいという考え  
である。

**上園** 住民にとっては、自然災害じゃなく、人的災害である。補修工事で絶対安心だと言えるのか。

**町長** 調査結果を出した委員会の方に、こうした工法で半永久的に大丈夫かと尋ねたが、それは一応結果は結果です。ということと終わっている。私自身も不安に思っている。

**Q** 前町長の責任を問うか  
**A** 今のところ  
考えていない

**上園** 調査の結果、土地陥没の原因が特定された。また、前町長は現役時代、町の瑕疵を認め、無償譲渡契約書を改正している。相手方の信頼を裏切らないように、安全・安心な土地を貸し与える義務があった。議会の指摘を無視した結果が現在の状況を生み出している。

当時の町長の責任を問えとの声もあるが。

**町長** 現時点で、当時の町長の責任を問うということ、今のところ考えていない。

## Q 柏原地区の道路の 拡幅の考えはないか

A 現地を調査して  
前向きに  
検討したい



児玉 勇治 議員

**児玉** 岩重医院から柏原保育所に通ずる道路は、道幅が狭く保育所の送迎や墓地に行く人たちの通行に支障を来しているが、拡幅の計画はないのか。

現地を十分調査して前向きに検討したい。

**町長** 柏原保育所への送迎や町営住宅、岩重医院などの利用者の多い路線であるので、

**町長** この国道448号線の道路整備については、鹿見



柏原保育所近くの道路。利用者が多く拡幅が望まれる

島県主催の行政懇話会及び土木事業連絡会でも、毎回早期拡幅を要望している。

また、県警本部、地域関係機関、地域住民等の参加のもとで行われた交通安全総点検や、通学路における緊急合同点検でも、危険箇所として指摘された箇所である。大型車の通行も年々増加し、柏原小学校への通学路や地域住民の重要な生活道路であるので、今後も引き続き、鹿児島県へ早期拡幅や歩道の整備を要望していきたい。

Q 柏原港の土砂滞留対策は  
A 県から国へ要望  
している

**児玉** 志布志石油備蓄基地の橋の下から南側の柏原港については、土砂の滞留がひどく漁船の航行に支障を来している。また、これにより備蓄基地の船も係留場が変わっているが、このことに対してどう考えているか。

**町長** 県が管轄する波見港港湾区域となっている場所であり、東串良漁業協同組合から県の方へ港湾航路しゅんせつ（浚渫）の要望が出され、漁協と県でしゅんせつ範囲について図

面及び現地での確認が終了している。

現在、県において、防災安全交付金事業として、平成29年度から新規着手に向けて国へ要望している。

Q 松林の活用はどのような  
A 観光拠点として活用し  
ていきたい

**児玉** 町長は、所信表明等で柏原海岸の整備等を上げているが、柏原の松林の活用として何か計画を持っているのか。

**町長** レクリエーション施



老朽化が懸念される木造アスレチック（ふれあいの森）

設を整備していきながら、観光拠点としての活用をしていくかと考えている。

**児玉** 柏原の松林内のふれあいの森の公園にある木造アスレチックは、老朽化で数カ所ぼろぼろになっているが知っているか。

**企画課長** 専門業者の立ち会いのもと確認したところ、2〜3箇所修理の指摘があったので、その方向で今段取りをしている。

**児玉** 柏原には、柏原大相撲とルーピン祭がある。関係機関が一体化することで東串良町をもっとPRできるものと思う。特に柏原大相撲は大会時、雨が降ると土俵が滑るため屋根の設置が切望されるが、このことについてどのように考えるか。

**町長** 5月の柏原大相撲で、雨で土俵が滑るのを見て屋根だけは何とか設置したいと前向きな姿勢である。

**児玉** 柏原の活性化のため、漁業の振興、柏原海岸、魅力ある美しい松林の活用には積極的な取り組みを要望する。

Q

降灰事業、  
ピーマン・きゅうりを  
一緒にできる  
よう要望すべき

A

県へ要望している



西園 貞美 議員

**西園** ピーマン、きゅうり農家も横ばいから減少傾向にある。新規の就農しやすい対策であるが、例えば、降灰事業である。今は3人以上、30アール以上、同じ作物でないといけないという取り決めがある。しかし、産地を守るためにもピーマン、きゅうりであれば一緒にできるように県に要望すべきと考えるがどうか。

**経済課長** 先般、県の降灰対策事業の総会があり、指摘の件については東串良町からの要望として意見を出した。回答としては、今のところ制度があるということであったが、今後も要望は続けていく。  
**西園** 転作田については、今は飼料用イネが非常に多い

が、これがいつまで続くとも思われない。転作田を利用した野菜の振興を図ることも考えていかななくてはならない。それには、品目選定をして、実験ほ場をつくらないといけないと思うが、町長の考えは

**町長** 転作田の利用を考えたとき、今ブロックローテーションが成立しているわけであるが、そこを利用する方々に野菜とか、そういうものをつくれなにか検討させてみたい。

**西園** 今後、農業人口が減っていく中で農地の集積と集約化が大事であると考えて、町としてのほ場整備の計画、あるいは農地の振興計画書ができてくるか。  
**町長** ほ場整備については、

岩弘地区が今度事業に入るところで、今、立ち上がった状態である。農業を基盤とする本町でも、農業従事者の高齢化、後継者不足は大きな課題である。こうした中、地域の中心となる経営体や後継者の育成・確保を大きな課題とし、認定農業者及び認定新規就農者を人・農地プランの中心経営体として位置づけ、中間管理事業等も活用しながら、地域の中心経営体の農地集積を図っていきたい。

**西園** 持留川土地改良区で、砂の採取が今非常に多くなっている。このままでは、ほ場整備をしても農地の換地が難しいと思う。町の振興計画書が県に提出されていないという事で、県も許可を出しているような状況である。早目に計画書を提出すべきと思うが。

**町長** 計画書はつくっていない。今後検討させていきたい。  
**Q** ふるさと納税について  
**A** 町長の意気込みと対策は  
**西園** 返礼品の充実を図り、  
広報活動にも力を入れる  
ふるさと納税について

て、本町の本年度の計画は7000万円。隣の大崎町は昨年27億円ほどであり、都城市は全国1位で42億円ぐらいであった。桁が違いすぎると思うが、町長の意気込みと対策を尋ねる。

**町長** 返礼品について更なる充実を図るため、新規返礼品事業者を公募し5月末に事業者向け説明会を開催した。8月頃までに随時返礼品充実のための更新作業も行っている。

同時に本町ふるさと納税の広報活動も重要と考え、寄附者全体のおよそ52%が関東地方にお住まいの方であることから、関東地方へ向けた情報発信も検討している。  
**Q** 野菜の指導員の配置の  
考えは  
**A** 一人は必ず配置したい  
**西園** 農業の振興をより発展させるためには、野菜の指導員を配置することが是非必要と考えるが、町長の考えを尋ねる。

**町長** オブザーバー的な感覚で、1人は必ず入れたいという気持ちはある。

## 議会を傍聴してみませんか！

手続きは簡単です。  
本会議の当日、傍聴人名簿に  
住所・氏名を記入していただくだけです。  
議会を傍聴することは、町政を知る良い機会  
ですので、ぜひお越しください。

**9月議会は、9日からの開会予定です。**

※本会議については、防災無線でお知らせします。



**Q** 施政方針を実現するための  
予算はどのようなものか

**A** シルバー人材  
センター活用、  
目玉は給食費の助成



泊 重巳 議員

**泊** 町長は施政方針で笑顔あふれるまちづくりを信条に、「子どもたちに夢を」「若者にロマンを」「お年寄りに愛を」をスローガンに町づくりを計画しているが、これを実現するための予算はどのように考えているのか。

**町長** シルバー人材センターの活用、松林の整備等の予算も計上したが、今回の目玉は、私も議員時代に再三要望してきた給食費の問題だろうと考えたところである。少

子化問題、教育、子育てに対する支援策として、小学校、中学校の児童・生徒の給食費を1人一月2000円の助成を行いたいと思っている。このことは、近隣市町からの若年者定住にもつながると大いに期待するところである。また、子どもたちに夢を与

えるために、今回予算は計上していないが姉妹都市の締結も、どうしてもやりたい事業の一つである。

**Q** 地域おこし協力隊を受け入れる考えはないか  
**A** 受け入れ体制を整え、前向きに進めたい

**泊** 国においては、地方の活性化を図るべく地域おこし協力隊の事業を推進している。すでに近隣町では、新たな視点、異なる視点からの地域おこしを図るために、錦江町が2人、南大隅町が2人、肝付町が5人の隊員を受け入れている。

本町も柏原地域の活性化、農業の振興、高齢化社会への対応など大きな課題があるが、地域おこし協力隊を活用する

考えはないか。

**町長** 本町においても、都会の目線に立った地域ブランドや地場産品の開発、農林水産業への従事といった活動を協力隊を通じて活性化できるのではないかと魅力を感じている。特別交付税による財政支援もあるので、先進事例も参考にしつつ、導入におけるコンセプトを明確化し、対象経費に留意しながら受け入れ体制を整え前向きに進めたいと思っている。

**Q** 小中一貫校の目的、  
ねらいは何か  
**A** 中1ギャップの解消等、大きく3つある

**泊** 昨年の10月から3年間、文部科学省の研究実践校として指定を受け、町内3校で小中一貫教育を実施しているが、目的、狙いについて尋ねる。

**教育長** 大きくは3つある。1つ目は、小学校から中学校への接続をスムーズにし、小学校児童の中学校進学に対する不安感の解消、俗に言われているところの中1ギャップの解消である。2つ目は、保護者の方々が



3校合同職員研修会（作文指導法講習）

町内同じ方向を向いて児童・生徒の教育に向かっていけるということである。3つ目は、先生方に義務教育9年間を見通した教育を系統的に理解してもらえらるということである。

**泊** これまでの取り組みの中で小学校、中学校の先生方の交流はどのように行われてきたか、また今後はどういうようになるのか。

**教育長** 中学校の先生方が小学校へ行って飛び込み授業を行うようなこともしている。

また、本年度からは、文部科学省の指定ということで加配教員が1人ついたため、そ



小中合同職員研修（相互授業参観）

の教員が柏原小在席で週1回は池小に、週1回は中学校にということ、理科の授業を行うようになっていく。

**泊** 小中一貫教育を実践するにあたり、施設面や教材等で配慮していくことはないか。

**教育長** 昨年度から、それぞれの学校内における校内LANの整備を行っている。先々の計画としては、首長部局と検討しながら学校間のネットワーク化も図りたい。

## Q 町長が掲げた公約はいつ実施するのか

## A 4年間の任期中にできるものからやっつけていきたい

町長が公約した姉妹都市、姉妹校構想、ルーピング大会の復活、地域おこし協力隊の活用、農業技術員の導入、多目的広場の整備などが施政方針に示されていない。

**田之畑** 町長が公約した姉妹都市、姉妹校構想、ルーピング大会の復活、地域おこし協力隊の活用、農業技術員の導入、多目的広場の整備などが施政方針に示されていない。

中止の理由と事業関係者への対応を示せ。

**企画課長** 中止の理由は財源的な問題である。事業者と近畿大学には、中止決定を伝えていく。県には説明してあるが、国にはまだ報告していない。

**町長** 4年間の途中で、できるものからやっつけていきたいと思う。

**田之畑** 農業振興のうえで、農業技術員が必要である。導入の時期を示せ。

**町長** 今年中に入れる。

**理由は**

## Q 地方創生事業の中止の理由は

## A 財源的な問題である

**田之畑** 町長は「大学の通信教育学習支援事業と幼児への英会話事業」を急遽中止した。



田之畑 稔 議員

中止の理由と事業関係者への対応を示せ。

**企画課長** 中止の理由は財源的な問題である。事業者と近畿大学には、中止決定を伝えていく。県には説明してあるが、国にはまだ報告していない。

**田之畑** 今になって財源的に無理があるとするのは、見通しが甘かったのではないか。広域の創生事業に転換するなど知恵を出すべきであったのではないか。

今回の中止によって、受講希望者や近畿大学などに迷惑をかけ、対外的に町の信用を失墜したが、町長の対応を示せ。

**町長** この事業は、広域連携でやるような事業であり、町単独で取り組むべきものでなかったと実感している。関係者については、私自身が出

向いてお詫びする。賠償については、事業契約者から提示されると思う。

## Q 観光振興への取り組みを示せ

## A 松林や史跡などの地域資源を活用する

**田之畑** 町にある幾多の観光資源を活かした観光整備計画の策定と、広域観光への取り組みを示せ。

**町長** 今後、松林や史跡などの地域資源を活用した整備の必要性を感じている。

**田之畑** 松林に野外コンサートステージをつくり、中学生や高校生などの吹奏管弦楽や、カラオケ大会などライブの場として活用することを提唱する。

**町長** 住民参加のもとに、ぜひ取り組んでいきたいと思う。

## Q 水産加工場の建設に取り組むべきでは

## A 関係機関と協議し、検討する

**田之畑** 柏原地域の振興策として、雇用と継続性のある水産加工場の建設を提唱する。

**町長** 漁協や関係機関と協議して検討する。

## Q 学校給食費助成金の支給方法は

## A 月額2000円の助成を9月から実施する

**田之畑** 学校給食費の助成と学校給食法との整合性と、支給方法を示せ。

**町長** 学校給食法に違反しない方法で、小・中学校の全員に月額2000円の助成を9月から実施する。

## Q 副町長からの辞職願があったことは事実か

## A 事実である

**田之畑** 町長が就任して間もなく、副町長から辞職願が出されたと聞かされた。事実か尋ねる。

**町長** 事実である。

**田之畑** 副町長はどのような理由で辞職願を出したのか尋ねる。

**副町長** 私は、前町長の副町長だったので、先の選挙で落選したことを契機に辞職願を出した。

**田之畑** 町長が副町長の辞職願を受理しないことは、町民感情に道義上上げめが付かないとの批判がある。町長が今の副町長を必要とするならば、辞職願を受理して、再度、自前の副町長として議会に同意

を求めるときと考えるが、町長の見解を示せ。

**町長** 町長に就任した私に行政経験がないことから、任期期間中はやっていただけないかとお願ひした。

**田之畑** 副町長が公選法違反で選管から注意を受けた初盆の香典配付問題で、議会に虚偽の答弁をしている。虚偽を認め謝罪すべきであるが見解を示せ。

**副町長** 昨年、初盆のところは回った。前町長のことを預かって回ったことについては、もうほとんど記憶にない。

## Q にぎやかタウン雪山土地陥没問題の解決策は

## A 住民の意思に沿って進める

**田之畑** にぎやかタウン雪山の土地陥没・沈下問題について、町長は施政方針で住民の立場で早期解決を図るとしているが、解決の方策を示せ。

**町長** 私は議員時代に住居移転ということをやっていた。住民から西側に移転の意向が出たので、その方向で考えるということ、あくまでも住民の意思に沿った形で進めていきたい。

**Q** ハウスの建て替え時など補助はできないか

**A** 今後検討していく



牧原 完治 議員

**牧原** 施設園芸の振興を図るうえで、ハウスの建て替え時など中古ハウスの取得について補助は出せないか尋ねる。  
**町長** 新規就農者については、機械の導入や中古ハウスの取得等、施設の整備にも補助しているが、施設園芸農家全てを対象にした維持修理やハウスの建て替え費用等の補助については、今後検討していく。

**Q** 天敵導入の補助はできないか  
**A** 今のところ考えていない

**牧原** 減農薬を推進するため、以前行っていた天敵導入（スワルスキーカブリダニを使った害虫駆除）に対する補助はできないか。  
**町長** 平成20年度から25年

度まで導入経費の2分の1を助成していたが、今のところ補助の再開は考えていない。状況については注意していきたい。

**Q** アールスメロンの銘柄確立を宣伝すべきである  
**A** トップセールスの機会なども利用し宣伝する

**牧原** アールスメロンが溜水から安留にかけてつくられている。このメロンは市場の評価も高く、栽培技術も確立している。そこで、この高級メロンを「東申良メロン」という宣伝でブランド確立に向けて努力できないか尋ねる。  
**町長** アールスメロンは、町内の認定農家12戸が栽培している。銘柄確立の宣伝については、ふるさと納税の返礼

品に使用するなど力を入れている。私自身がトップセールスの機会にも東申良町のアールスメロンであると大いに宣伝したい。

**Q** スクールバスの運用は考えていないか  
**A** 現在のところ考えていない

**牧原** 町内では、岩弘地区、川東北地区、そして下伊倉や俣瀬地区など学校から遠い地区があるが、スクールバスを運用する考えはないか。  
**教育長** 池之原小学校で4キロ以上の通学者が14人いる。柏原小学校では6人いる。一番長い距離を通学しているのが池小では4・8キロ、柏原小学校では5キロであるが、現在のところスクールバスの運用は考えていない。

**牧原** 今年の新入生は池小で44人、柏小で8人である。今のところ池小に集中する状態である。池小は教室不足で今回3000万円の補正予算を投じるところであるが、スクールバスを運用すると池小、柏小の児童の調整がうまくできるものと思う。また、このバスを利用して昼間は買い物



池之原小学校の校舎増築場所（赤の囲み部分）

弱者の対策にも使える。柏原小学校をみると、今の現状でいくとやがて存続の危機になるかと思うので、池之原集中型じゃなくて、しっかりとした柏原対策を要望する。  
町長の施政方針の中で、費用対効果を重んずるといいうようなことが書いてあったが、これは国・県の言葉である。私たちのこの小さい町では、少ない予算の中で最大の効果が出る方策を出してもらいたい。

## 会議録の設置

定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所を設置しています。

- ☆役場1階ロビー本棚
- ☆福祉センター
- ☆総合センター

是非ご覧ください！



新しい事に挑むに「年齢はなし」

言葉信じて私の時間

藤元 美保子



## 女性の社会進出と活躍を期待します

このコーナーは、町民の意見を幅広く聴取し、行政に反映する目的で企画しました。

町民に  
インタビュー  
Vol.12

**議長** 「男女共同参画社会基本法」の趣旨を踏まえた「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が制定されるなど、社会における女性の活躍が期待される中で、今回は、多年にわたり芸術・文化の向上に取り組んでおられる豊栄在住の藤元美保子さんに話を伺います。

**議長** 藤元さんは書道家としてご活躍のほか、芸術・文化の多面的な活動をなされておられますが、活動の一端をお聞かせください。

**藤元** 私は、書道家として山翠の号を拝しています。南墨会や創元一科会に所属し、先般は個展を開いて多くの皆様に観ていただきました。また、生涯学習講座の書道教室や小学校などで講師として指

導しており、先には町の戦没者慰霊碑を書かせていただきました。私は現在86歳になりましたが、50歳の頃に油絵を描き始め、県美術協会の会員として、町の美術教室や鹿屋市美展などに出品しています。

**議長** 藤元さんの水墨画も有名ですが、ご主人の祐徳さんも水墨画を描かれるなど揃って多芸な方と聞いていますが？

**藤元** 90歳の夫は、尺八が堪能な人ですが、昔から私と共に水墨画に親しんで師範の腕前です。

**議長** 私も教えを頂いている短歌の魅力についてお聞かせください。

**藤元** 町の短歌会に入会して35年になります。花鳥風月

や四季の彩りなど自然を観察しながら歌に表すことは、日々の自己を見つめる良い機会となります。

**議長** 藤元さんの多芸には感服しますが、他の活動をお聞かせください。

**藤元** 私は心身ともに健康であることを心掛けて、仲間の人たちと太極拳を13年、コーラスを10年続けています。

**議長** 最後に藤元さんの抱負をお聞かせください。

**藤元** 私は多年、夫の理解のもとに、芸術に勤しんできました。90歳を超えた方の日展の入選を聞き、私もそれを目指して頑張りたいと思います。

今までに学んできた事を一人でもたくさんの人に、命ある限りお伝えしていきたいです。

これからも高齢者の生き方の模範となるように頑張つて参りたいと思います。

ありがとうございました。  
写真後ろの書画については、藤元美保子さんより寄贈いただきました。

# 日曜議会として開催 錦江町議会の一般質問を調査

## 1 調査日

平成28年6月26日(日)

## 2 調査の概要

錦江町議会における平成28年6月定例会の日曜議会で行われた一般質問を傍聴して、その実態を調査した。

錦江町議会における初めての日曜議会の開催で、多数の傍聴者が期待されたが、当日、

他の町内行事が重なったことや、梅雨時の晴れ間での農作業などで傍聴者は我々の7人を含めて20人程であった。

質問通告者は6名で、質問事項は畜産農家への支援や今後の振興について、災害対策について、指定管理制度について、成年後見人制度について、児童・生徒の英語力向上について、空き家対策について、飲料水供給施設について、町道の改良工事について、などであった。

## 3 意見

質問時間は答弁を含めて1時間であるが、当日の質問者の質問時間は20分〜25分程度で終わった。

錦江町議会は、本会議場の議席に全議員が町の例規集を置き、条例や規則等に対処する姿勢は見習うべきと感じた。一般質問の質問時間を有効に活用するため、質問事項の項目数の選定について考慮すべきであると感じた。



全議員が町の例規集を片手に議会に臨む

質問通告者の質問事項についての要旨は、具体的に書かれており、執行部の答弁も質問要旨に添ったものであり、質問と答弁がよく噛み合っていた。

質問者の質問事項は時機を得たものであり、質問内容と発言姿勢は適正なものであった。

錦江町議会における、一般質問は一問一答式で

日曜議会の開催は、広く町民に傍聴を呼びかけ、行政の現状を知っていただくために意義あるものであるが、質問者の質問事項と要旨を町民に対して事前に知らせるとともに、質問者自らの関係団体への傍聴の要請など積極的な広報活動が必要であると感じた。

他の町村議会の一般質問や議会運営等を調査することは、本町議会のあり方を考察するうえで大変有意義である。

# 議会だよりに投稿しませんか

### 例えば

1. この町に住んで感じる事(400字程度)
2. 将来の夢(400字程度)
3. 東串良町の未来図(図画)
4. 自慢のワンショット写真
5. 自作の4コマ漫画
6. イラスト . . . . . など

### 【応募方法】

東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募してください。(持参可)  
なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。

住所、氏名、年齢(学校名と学年)、電話番号、匿名希望者はペンネーム

【応募先】〒893-1693 東串良町川西1543番地 東串良町議会事務局  
メールアドレス：gikai@higashikushira.com

【しめきり】平成28年10月14日必着

【注意】作品の返品はいたしません。

- 議会だより「東くしら」に採用された方には、図書カードをお送りします。

- 応募作品は、第131号(11月発行)で掲載する予定です。

投稿  
まって  
ます!





# 町内の巡回活動

定期的に議員全員で町内を巡回し、道路等の危険箇所を調査しています。調査後、意見の集約を行い、町の所管課へ改善要求を行っています。



▲柏原児童館  
現在は相撲連盟が道具置き場として利用している。連盟は存続を望む



▲備蓄基地への橋の下  
土砂が滞留し、漁船の航行に支障がある調査時は満潮で確認できず（赤の囲み部分）



▲岩重医院から柏原保育所への道路  
園児の送迎や地域住民の車の通行が多いが道幅が狭いため離合が困難（赤の囲み部分）



▲松林内の道路  
松林の活用のためには整備が必要不可欠（赤の囲み部分）



▲柏原保育所付近の道路  
保育園の裏からこの道路に抜けられるようになれば利便性が向上する（赤の囲み部分）



▲国道 448 号線「新町上～下付近の道路」  
大型車の通行が多いが、道路幅が狭い（赤の囲み部分）



▲役所の用水路  
高低差があり、田んぼへの用水が不便である

★巡回 8 回目★  
平成28年 5月 2日  
巡回地 柏原地区

危険箇所等調査してもらいたい所がありましたらご連絡ください。  
【連絡先】 東串良町議会事務局 ☎ 0994-63-3132

# 輪和話のひろば

Vol.12

このコーナーは、町内のあちらこちらの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もつと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願いします。

## 子ども達の未来のために

### 「読書会」

今回は、東串良町総合センター図書室の「読書会」を紹介します。

この読書会は、東串良町総合センターの和室において、幼児、小学校1〜3年生を対象に4月、7月、12月の年3回開催されているそうです。

読書会のスタイルは、図書室の橋口尚子さんを中心に小学校、中学校の司書の先生、町内の読書グループの方々が、本、絵本、紙芝居の読み聞かせや、読書クイズ、ブックシアター等約1時間の読書会だそうです。前回の4月は親子連れも含め約90名の参加者でした。子どもたちはおしゃべりやよそ見もせず、

先生方の読み語りに熱心に耳を傾け、あつという間に1時間の読書会が過ぎるという感じだそうです。

担当の橋口さんは、読み聞かせの本の内容やその反応を毎回記録し、次の読書会への努力を重ねているそうです。これも子ども達の生き生きとした反応が何よりの喜びだからと語っていました。

### 取材を終えて

昔なら、緑陰読書というのがありましたが、現在では木陰ではなく、冷房の中の読書です。

しかし、読書という文化、歴史、知性への希求の営みは、その読む形態が違っても、その重要性は何ら変わるものではありません。子どもたちには未来があります。この未来を輝くものとするため、先生方の指導の下、大いに本に親しむ習慣をつけてほしいと思っています。

取材者 原田 猛



晴天に恵まれて  
豊作でありますように

## 編集後記

3月25日頃からコシヒカリ、イクヒカリの田植えが始まりました。今年は林田・持留土地改良区の通水が、例年より3日早くなったため、WCSの植付けも早くなりました。

梅雨も終わり、稲刈りの時期となりました。稲穂も色づき黄金色に輝いています。

刈取り時は晴天に恵まれて、おいしいお米や、良質な牧草が収穫できることを大いに期待したいと思います。

前田 隆

毎年、WCSは6月中頃まで植付けしており、水田農家はジャンボタニシによる被害が大変頭を悩ませていました。

### ▼広報編集委員会

編集委員長 原田 猛  
編集副委員長 瀬戸山 譲一  
編集委員 泊 重巳

が、今年は5月末までに植付けが終わり、その被害を免れて一安心されたところでしよう。

〃 前田 隆  
〃 上園 ミキ  
〃 宮地 利雄